

食品の安全・安心に関するアンケート結果

1 実施概要

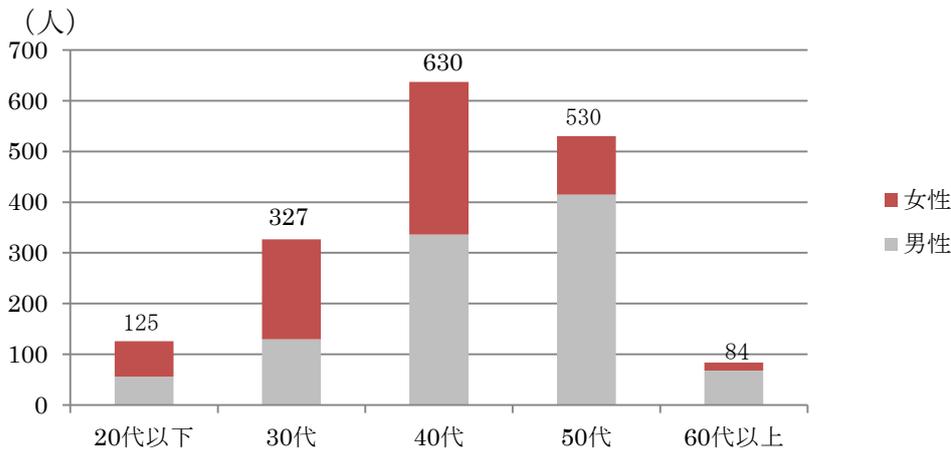
実施方法	kids☆めるまがアンケート	広島県職員ポータルアンケート
回答期間	平成 27 年 10 月 27 日～11 月 6 日	平成 27 年 10 月 27 日～11 月 17 日
回答対象	イクちゃんサービス kids☆めるまが登録者（約 20,000 名）	広島県職員（約 4,500 名）
回答数	278 名	1,426 名
回答率	約 1.4%	約 31.7%

\*設問内容は別紙

2 回答者の属性について

○回答数 1,704 名（男性：1,005 名 女性 699 名）

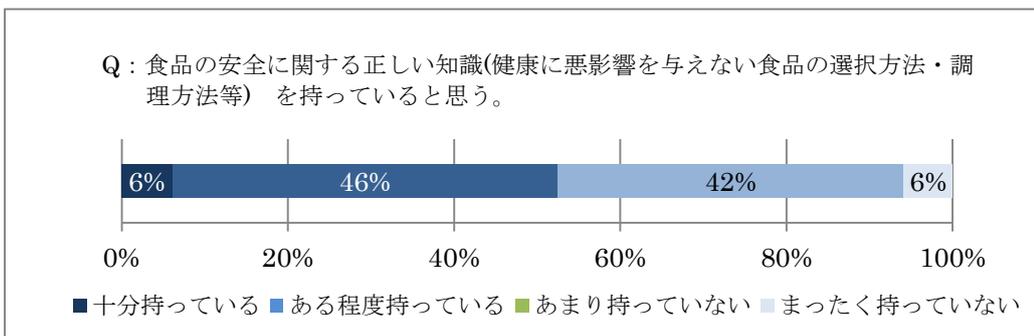
○年齢構成



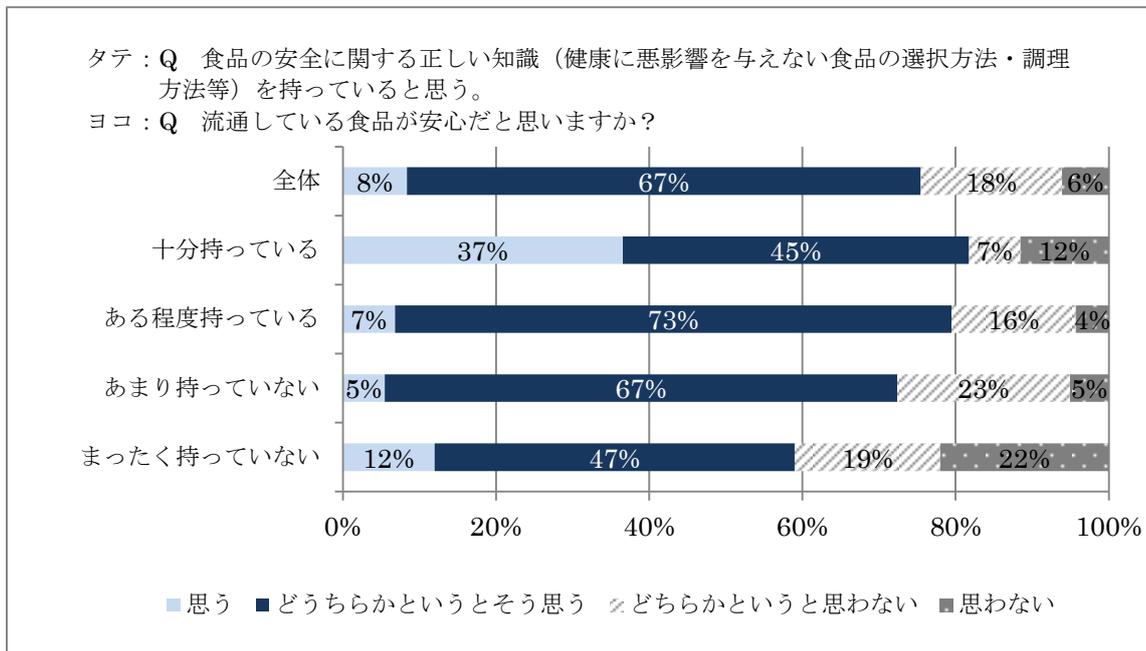
3 集計結果

(1) 食品の安全に関する正しい知識の保有に関する設問について

○食品の安全に関する正しい知識（健康に悪影響を与えない食品の選択方法・調理方法等）を持っているかについて 52%が「十分持っている」「ある程度持っている」と回答している。



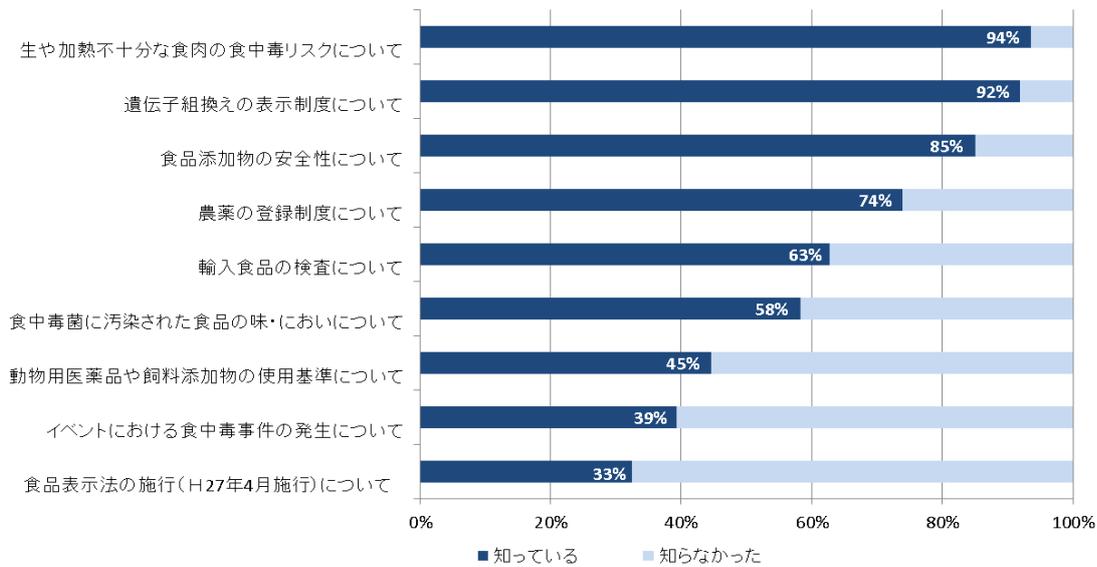
- 流通している食品に対して、75%が安心だと「思う」「どちらかというと思う」と回答している。
- 食品の安全に関する知識の有無と、食品へ安心感の関係について集計したところ、知識を持っていると思う回答者ほど、流通している食品に安心を感じている傾向がみられた。



## (2) 食品の安全に関わる施策等の認知度に関する設問

- 食品安全に関わる施策，昨年度発生した大きな食中毒事件の発生について「知っている」「知らなかった」の択一式アンケートを実施し、「知っていた」との回答率を集計した。
- 最も認知度が高かったのは、「加熱不十分な食肉は、新鮮かどうかに関わらず食中毒リスクがある」ことについて問うもので、94%の結果となった。
- 最も認知度が低かったのは、「平成27年度4月に施行された食品表示法」を知っているかを問うもので、33%の結果となった。
- 年齢別に集計した場合、年齢が高いほど認知度が高い傾向となっている。（\*設問等は別紙参照）

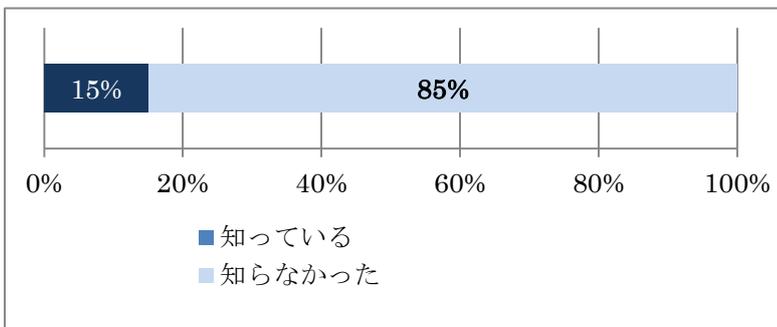
食品の安全に関わる施策等の認知度に関する設問の結果



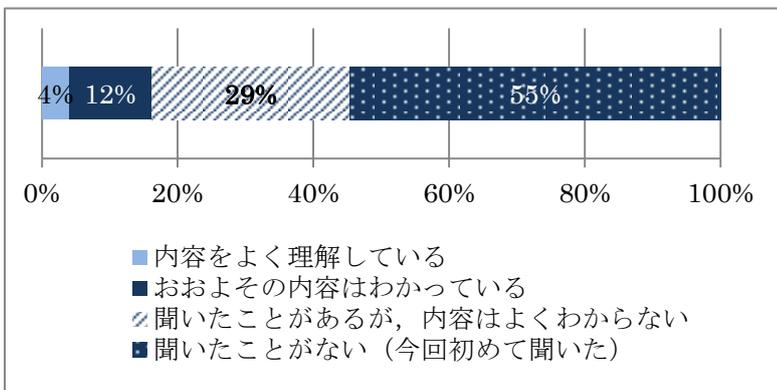
(3) 食品の安全性に関わる「リスクコミュニケーション」の認知度に関する設問

○イクちゃんメルマガ登録者の回答では、「知らなかった」が85%、広島県職員の回答では、「知らなかった(今回初めて聞いた)」が55%、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が29%の結果となり、認知度は全体的に低かった。

Q 食品の安全に関わる「リスクコミュニケーション」という言葉を知っている



回答者：メルマガ会員  
(278名)

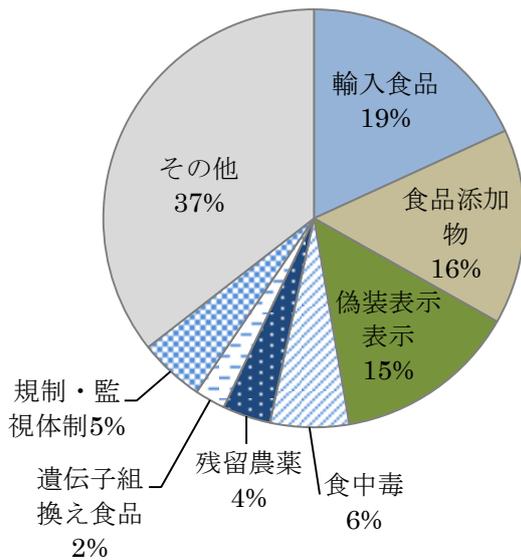


回答者：広島県職員  
(1,426名)

(4) 食品の安心・安全に関わる意見（自由回答）の分析

- 自由回答は 276 件であり、内容に多く含まれる要素により、分類した。
- 「輸入食品」に関する回答が最も多く 19%（54 件）、これは平成 27 年 10 月に大筋合意した TPP による 輸入増加の予想等が多く話題に取り上げられたことが要因の 1 つと考えられる。
- 「輸入食品」の他、「食品添加物」16%（45 件）、「偽装表示・表示」15%（42 件）に関する意見が多くあった。

自由回答の要素別割合



◆ 回答内容の抜粋（ ）内は、広島県職員については所属局，性別，年代，イクちゃんメルマガ会員については一般，性別，年代の順に記した。

①「輸入食品」に関する意見・要望

- TPP 解禁後の輸入食品の安全性の確保について不安がある。(健康福祉局，男性，50 代)
- 中国産は安全なのか。(一般，女性，30 代)
- 外食産業，スーパーの惣菜等の原材料表示として，国産か外国産（国名）を入れてほしい。実際に食べている現状を認識すると，外国産の安全性が追認できると思う。(一般，男性，40 代)
- 輸入食品の違反率は，0.05%だが，サンプリング検査なので心配である。統計的に有意なサンプリングなのかどうかしめしてほしい。(総務局，男性，50 代)

## ②「食品添加物」に関する意見・要望

- 国が定める安全基準をクリアしているだけでは安心しない。特に食品添加物。(一般, 男性, 40代)
- トランス脂肪酸の表示がないことや, カロリーオフで, さもヘルシーな感じに騙されて, 人工甘味料の危険性が知られていないことを残念に思います。(一般, 女性, 40代)
- 海外で報じられた, 「加工肉を一定量, 定期的に摂取すると発ガンリスクが上昇する」について, 県民生活のため, 県として正確な情報(発信元と分析根拠)や分かりやすい解釈(使用成分や傾向的に多い商品群)を発信してください。(農林水産局, 男性, 40代)
- 添加物については, それ単体だと安全と言われているが, 今の時代, 様々な物に入っているため, 同時に摂取した場合の相互作用で発ガン性物質に変わったりする物があると聞き, 不安。(一般, 女性, 50代)

## ③「偽装表示・表示」に関する意見・要望

- 消費者は商品に記載されている文字を信用して商品を購入せざるをえない。それが正しくない場合もある。(一般, 女性, 30代)
- 加工食品やお惣菜, お弁当などは表示義務も緩くなっているそうなので産地や添加物などについてしっかり知識を持ちたいです。(一般, 女性, 30代)
- 少々期限が切れても大丈夫な期間を記載してほしい。たとえば「もったいない期間」などの表示があればよい。(総務局, 女性, 60代)

## ④「食中毒」に関する意見・要望

- 一般的には, 十分に加熱すれば大丈夫というふうに考えていますが, 例外があれば広報してほしい。(総務局, 男性, 30代)
- 生肉の危険性に対する一般の人の意識はいまだにかなり低いと思う(総務局, 男性, 40代)
- 小売店等で販売しているものは, 安心だと思ってはいたが, イベント等での食品には気をつけなといけないと改めて考えなおした。(総務局, 女性, 50代)
- 生産から流通の消費者からは見えない中で, たくさんの方が食中毒やヒトが摂取した後の影響を考えて食品を扱っているのだと思う。販売や, 家庭での保存・調理に一番気をつけなければいけないと思う。(一般, 女性, 30代)

## ⑤「残留農薬」に関する意見・要望

- 中国産の野菜を中心とした農産物が大量に日本で販売されているが, 認可された農薬を使用しているのか, 残留農薬は大丈夫なのか・・・等, 安全性に問題がないのか心配ですが, その辺りの検査を十分に行っていただきたい。(環境県民局, 男性, 60代)
- 安全であるという事でも添加物などは極力入れたくない。見た目は悪くても無農薬の物が, もっと流通してほしい。(一般, 女性, 40代)
- オーガニック食品を奨励・普及啓発することが大切である。(健康福祉局, 男性, 50代)

⑥「遺伝子組換え食品」に関する意見・要望

- 実施には使用していても、定められた割合以下の場合、無果汁や、遺伝子組み換えでないと表示できるとの知らない人が多いと思う。(農林水産局, 女性, 20代)
- 遺伝子組換え表示食品の危険性について、さらに知りたい。(土木建築局, 男性, 50代)
- 日本は世界 No. 1 の添加物王国ですし、遺伝子組み換え作物を使用したコーンスターチなどは、遺伝子組み換えと表示義務がないので、日本の食品は安心して食べられるものが少なくなっていると思います。(一般, 女性, 30代)

⑦「規制・監視体制」に関する意見・要望

- 検査や基準が設けられていても、すり抜け流通しているものがありそうで不安。(一般, 女性, 30代)
- 規制するだけでは食品の安全安心にはならない。製造・検査コストと消費者が受ける損失をバランスさせることが重要。(総務局, 男性, 40代)
- ゼロは不可能。過剰な反応は是正すべきだか。一定基準の規制と監視は必要。自然環境下で収穫された食物(畜産物を含む)にはリスクがある。消費者の覚悟と対応が必要と思われる。(農林水産局, 男性, 50代)

⑧その他の意見・要望

**【健康食品】**

- 健康食品として高価な食品があるが、安全性・衛生面は確保されているのか(健康福祉局, 男性, 50代)

**【放射能汚染】**

- 広島県では食品の放射能汚染検査を十分に実施されているのでしょうか。(総務局, 女性, 30代)
- 放射能汚染が心配です。(一般, 女性, 40代)

**【事業者の対応】**

- 流通している食品が安全だと思わなければ、食事ができなくなります。生産・製造者において安全を徹底してほしいです。(地域政策局, 女性, 40代)
- 違反が出た時の、責任者対応が不誠実と思う(健康福祉局, 男性, 40代)
- お店の管理もどうなのか疑問に思う。たまに傷んでいるのが置いてある。(一般, 女性, 50代)

**【安全・安心】**

- 偽装等を含めて、完全に安心安全な食品はないことを周知すべきと思います。(健康福祉局, 男性, 40代)
- 「安心」の捉え方は、人によって様々なので、行政が食品の安心を法令によって規制することは不適當。食品の安心という言葉は、行政が公に用いない方がいいと思う。(総務局, 男性, 50代)

- 行き過ぎた「安心」が食品残渣の発生の一因となっているのではないかと思います。(農林水産局, 男性, 50代)
- 食品の安全性は事業者が担保するが, 食品の安心は行政, マスコミなど広報が重要と思う。(健康福祉局, 男性, 40代)

#### 【施策】

- 食品に限らず, 安全と安心をしっかりと区別した理解のための消費者教育が必要と思っています。(農林水産局, 男性, 50代)
- 食は, 生活の基本であり, アンケートの内容も考慮しつつ, 将来を担う子どもたちの知識となるよう幼小中高を通じた系統的な教育の更なる充実が大切である。(総務局, 男性, 50代)
- 食品の安全についてメールで相談できる所があると良いと思います。(一般, 女性, 40代)
- 本当に体に安全なものを口にしたいので, 何が安全でそうでないか, 食品の選び方や添加物や遺伝子組み換えの体への影響, 農薬や水, 食物の安全性がわかる冊子が欲しいです。(一般, 女性, 40代)
- 生産者, 流通販売者, 消費者すべての意識向上が課題だと思う。(総務局, 男性, 50代)
- 質問事項に関し「公式発表としてそう言われている事」を理解しているが, それが決して真実ではない事も知っている。遺伝子組み換えの危険性, 残留農薬の危険性, 食品添加物には組み合わせ毒性の問題がある事も周知する必要があるだろう。(農林水産局, 男性, 50代)

#### 【その他】

- 流通はしている食品は, いろいろな基準をクリアし 安心安全な物だと 思いたい。(一般, 女性, 40代)
- 国が安全性を認めた食品添加物, 農薬, 動物用医薬品や飼料添加物の使用基準が定められていたとしても, 個々人により影響が違う。そのことを理解したうえで流通している食品の細かな内容を把握し, 子供には食べさせていき, 何かしらの影響があればその都度対応していきたい。(総務局, 男性, 30代)
- 今回のアンケートで少し問題意識が生まれました。(土木建築局, 男性, 40代)